

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	天童市						
地域内総人口（人）	59,892人						
地域総面積（km ² ）	113.02km ²						
地域の要件	豪雪	山村					
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和3年4月1日
終了年月日	令和6年3月31日
計画期間	3年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の 広域化・集約化計画の名称	

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和6年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量（トン）				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		令和2年度現状		令和6年度目標		令和6年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	57,038人	92.4%	59,294人	98.0%	56,206人	93.9%
	農業集落排水施設等		0.0%		0.0%		0.0%
	合併処理浄化槽等	619人	1.0%	442人	0.7%	560人	0.9%
	小計：汚水衛生処理人口	57,657人	93.4%	59,736人	98.7%	56,766人	94.8%
	単独処理浄化槽等	2,582人	4.2%		0.0%	1,994人	3.3%
	非水洗化人口	1,496人	2.4%	768人	1.3%	1,132人	1.9%
	小計：未処理人口	4,078人	6.6%	768人	1.3%	3,126人	5.2%
	合計：総人口	61,735人	100.0%	60,504人	100.0%	59,892人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	906キロリットル				710キロリットル	
	浄化槽汚泥量	1,766キロリットル				1,484キロリットル	
	合計	2,672キロリットル		キロリットル		2,194キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア．一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ．一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ．一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ．一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ．処理形態別人口に関する事項	
カ．し尿・汚泥の量に関する事項	・浄化槽設備整備事業 生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図るため、下水道事業計画区域外の一般家庭等に合併処理浄化槽の設置に要する経費に対し、補助金を交付する。
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

汚水衛生処理率について、事業実施前（令和２年度）の９３．４％から、事業実施後（令和６年度）は９８．７％とする目標であったが、実績は９４．８％であり、目標を達成できなかった。要因としては、浄化槽整備区域は主に中山間地であり、単身世帯の増加、居住者の高齢化及び後継者がいないこと、転出等が考えられる。浄化槽整備に係る工事費の負担も大きく、事業への着手を躊躇せざるを得ないケースが多いことが要因の一つと考えられる。 今後は浄化槽整備区域における未処理人口解消のため、ホームページ、市報等を活用した周知・広報により合併処理浄化槽への転換を促していく。
--

（都道府県知事の所見） 汚水衛生処理率（令和６年度）は目標を達成していないが、94.8％であり、生活排水処理施設は概成に近づいているものと考えられる。 さらなる汚水衛生処理率の向上を目指し、ホームページや市報等を活用した周知・広報により、合併処理浄化槽への転換を促していただきたい。

※令和６年３月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	天童市						
地域内総人口（人）	59,892						
地域総面積（km ² ）	113.02km ²						
地域の要件	豪雪	山村					
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）	東根市外二市一町共立衛生処理組合(昭和35年4月1日設立)						
組合を構成する市町村	東根市、天童市、村山市、河北町						

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和3年4月1日
終了年月日	令和6年3月31日
計画期間	3年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和6年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量（トン）				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		令和2年度現状		令和6年度目標		令和6年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	57,038人	92.4%	59,294人	98.0%	56,206人	93.9%
	農業集落排水施設等	人	0.0%	人	0.0%		0.0%
	合併処理浄化槽等	619人	1.0%	442人	0.7%	560人	0.9%
	小計：汚水衛生処理人口	57,657人	93.4%	59,736人	98.7%	56,766人	94.8%
	単独処理浄化槽等	2,582人	4.2%		0.0%	1,994人	3.3%
	非水洗化人口	1,496人	2.4%	768人	1.3%	1,132人	1.9%
	小計：未処理人口	4,078人	6.6%	768人	1.3%	3,126人	5.2%
	合計：総人口	61,735人	100.0%	60,504人	100.0%	59,892人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	906キロリットル				710キロリットル	
	浄化槽汚泥量	1,766キロリットル				1,484キロリットル	
	合計	2,672キロリットル		キロリットル		2,194キロリットル	

2 目標が達成できなかった要因

汚水衛生処理率について、事前実施前(令和2年度)の93.4%から、事業実施後(令和6年度)は98.7%とする目標であったが、実績は94.8%であり、目標を達成できなかった。
要因としては、浄化槽整備区域は主に中山間地であり、単身世帯の増加、居住者の高齢化及び後継者がいないこと、転出等が考えられる。浄化槽整備に係る工事費の負担も大きく、事業への着手を躊躇せざるを得ないケースが多いことが要因の一つと考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 10年度まで
令和6年12月に地域計画を見直し、令和10年度までに未処理人口を2,085人まで減らす目標を策定した。適宜計画のフォローアップを行い、実情に応じた生活排水対策を講じ、公共用水域の水質向上を図る。
今後は浄化槽整備区域における未処理人口解消のため、ホームページ、市報等を活用した周知・広報により合併処理浄化槽への転換を促していく。

(都道府県知事の所見)

汚水衛生処理率(令和6年度)は目標を達成していないが、94.8%であり、生活排水処理施設は概成に近づいているものと考えられる。
合併処理浄化槽等の構成比が上昇しない要因としては、浄化槽整備区域は主に中山間地であり、単身世帯の増加、居住者の高齢化及び後継者がいないこと、転出等が考えられる。また、浄化槽整備に係る工事費の負担も大きく、事業への着手を躊躇せざるを得ないケースが多いことが要因の一つと考えられる。
さらなる汚水衛生処理率の向上を目指し、未整備世帯に向けた補助事業の一層の周知・活用を図り、汚水衛生処理率の向上に努めていただきたい。

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。